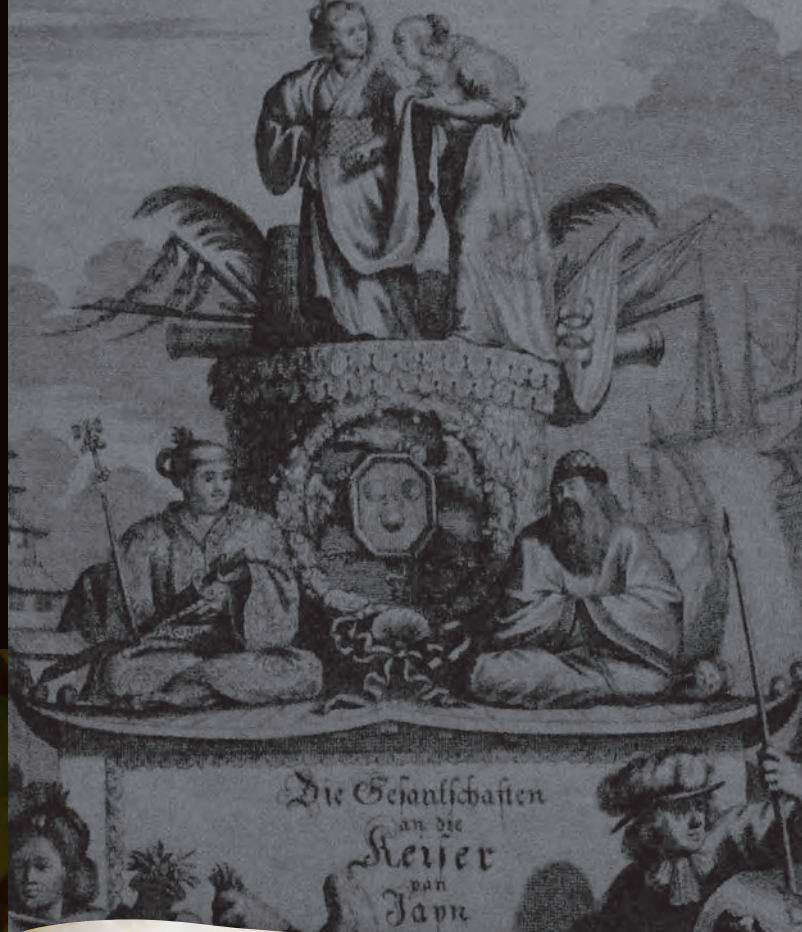


News

西南学院大学博物館ニュース

Volume **26** 2016.03

郷 西南学院大学



アルノルドゥス・モンタヌス「東インド会社遣日使節紀行」
[西南学院大学博物館所蔵]

特集 アルノルドゥス・モンタヌス 「東インド会社遣日使節紀行」

聖書植物園紹介 ② 大学博物館周辺の聖書植物たち

特別展紹介 西南学院大学博物館の「コレクション」展

所蔵品紹介 アルノルドゥス・モンタヌス「東インド会社遣日使節紀行」

大学博物館紹介 ②⑤ 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

SEINAN GAKUIN
1920



SEINAN GAKUIN
1920

聖書植物園紹介 ㊦

大学博物館周辺の聖書植物たち



聖書植物園は本学キャンパス全域にわたる広範囲の植物園ですが、今回は大学博物館周辺の植物についてご紹介します。

博物館の入口花壇には、マンドレイクやケーパー、ゼニアオイなど数十種類の植物が、来館者をいつも迎えています。また、女子同窓会「ゆりの会」から寄贈された数十本のユリが、毎年6月に美しい花を咲かせるなど、季節ごとに異なる彩りを博物館に添えてくれます。特に、「アンネの形見のバラ」(Souvenir of Anne Frank)の見える5~6月は必見です。アンネ・フランクの父オットー・フランクが大切に育成した苗より株分けされたバラが博物館の花壇には残されており、つぼみは赤色、花はオレンジからピンクへと変化していく様子は必見です。

学芸調査員 阿部 大地



マンドレイク



ケーパー



ゼニアオイ



フェニキアバラ

聖書植物園 HP <http://www.seinan-gu.ac.jp/shokubutsu/>

【大学博物館紹介 ㊦】

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

京都工芸繊維大学美術工芸資料館は、その前身、京都高等工芸学校創立(1902年)時から収集されてきた美術工芸資料を、研究対象として、また教材として保存、展示しています。分野は絵画、彫刻、金工、漆工、陶磁器、繊維品、考古品等多岐に渡ります。これらは何れもデザイン教育、美術工芸教育の教材として集められたもので、名品であることを条件としていなかった点が特徴です。また、19世紀末から20世紀前半にかけてのポスターコレクション、建築家村野藤吾の戦前のオリジナル・ドローイングを含めた建築図面なども収集しており、研究対象として、興味深い資料を所有しています。また、美術・工芸・グラフィックデザイン分野の新人クリエイターの継続的な成

長支援を目的とする「未来の途中」プロジェクトを実施しており、大学美術館を活用した美術工芸分野新人アーティスト育成に努めています。

特色あるコレクションの保存・研究、また、定期的な企画展、講座による若手の育成など大学博物館を利用した多岐に渡る活動は注目に値します。

学芸調査員 池永 照美



写真提供 / 京都工芸繊維大学美術工芸資料館



開館時間 / 10:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 / 毎週日曜日、祝日

入館料 / 一般200円、大学生150円、高校生以下は無料

京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生・院生は学生証の提示により無料で入場できます。
※展覧会によって異なる場合があります。

お問合せ / 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
TEL : 075-724-7924
FAX : 075-724-7920

アルノルドゥス・モンタヌス

「東インド会社遣日使節紀行」1669年



略表題

都の奉行の行列

モンタヌス(1625-1683)はオランダの牧師でした。彼自身、日本を訪れたことはありませんが、オランダ東インド会社の職員やイエズス会士の報告書などをもとに、『東インド会社遣日使節紀行』(他に『日本誌』なども)を刊行しました。1669年にオランダ語版とドイツ語版、その後英語版やフランス語版が出版されており、人気を博していたのでしょう。本館が所蔵するのはドイツ語の初版本です。

本書には多くの挿絵が掲載されています。その大半は想像に依っていたため、現在の私たちからすると描かれた日本人の容貌や景色は奇怪なものとなっています。しかし、日本についての情報が十分ではなかった時代において、モンタヌスの挿絵はヨーロッパの人々の日本観に大きな影響を与えたことでしょう。その後もヨーロッパで出版された日本関係の書物の中で、挿絵が利用されていきました。

学芸研究員 野藤 妙

学芸員の眼 — 資料の管理 —

博物館の業務のひとつとして、収集した資料の管理があります。資料を収集すると、まずは資料の寸法・収集方法・画像などの情報を記録します。これらの情報を記録したものは、資料カード、あるいは台帳と呼ばれ、管理番号がつけられます。管理番号があることにより、類似した資料があるとき容易に見分けられ、資料展示や貸し出しの際の間違いを防ぐことができます。そして、収集された資料は歴史、

美術などの分類ごとに配架され、専用の文書箱などに収納されます。

資料の管理の仕方は博物館によって違いがありますが、資料の安全面はもちろん、資料を活用するときに取り出しやすい状況であることが望ましく博物館活動がスムーズにいくように、資料を管理しておくことが大事だと思います。

学芸員 内島 美奈子



文書箱の作成




資料台帳の作成




博物館通信


2015年12月から2016年2月までに行った博物館活動や出来事の中からいくつか紹介します。

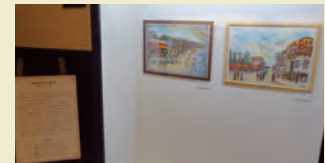
 12月12日(土) 國學院大學博物館にて公開講演会を開催しました。




國學院大學博物館での公開講演会

 12月15日(火) 企画展「西南から見た西新の記憶」を開始しました。
2016年5月31日(火)まで開催。

 1月27日(水) 南島原市 × 西南学院大学博物館
相互貸借特集展示Ⅳ
「日野江城・原城の姿 —出土した瓦から—」を本館で開始しました。
4月30日(土)まで開催。




企画展「西南から見た西新の記憶」

 2月15日(月) 國學院大學博物館 × 西南学院大学博物館
相互貸借特別展示Ⅴ
「イト・ナノの東 —いくつもの弥生文化—」は盛況のうちに終了いたしました。




南島原市相互貸借特集展示Ⅳ
「日野江城・原城の姿 —出土した瓦から—」

 2月15日(月) 國學院大學博物館 × 西南学院大学博物館
相互貸借特集展示Ⅶ
「天神人形 —各地の天神さま—」を本館で開始しました。
5月25日(水)まで開催。



國學院大學博物館相互貸借特集展示Ⅶ
「天神人形 —各地の天神さま—」

 2月29日(月) 『西南学院大学博物館研究紀要第4号』を刊行しました。

サテライト展示

相互貸借特集展示Ⅳ

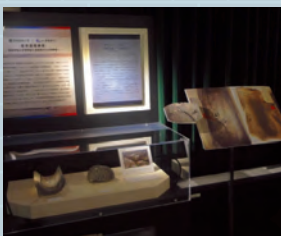
【南島原市×西南学院大学博物館】

「日野江城・原城の姿 —出土した瓦から—」

会 期 / 2016年1月27日(水)～4月30日(土)
会 場 / 西南学院大学博物館 1階 常設展示室
入 場 / 無料

日野江城と原城は、どちらも、鎌倉から江戸初期の島原地域の領主であった有馬氏の城です。この二つの城は、戦国時代の有馬の様子や、キリスト教布教の弾圧など地域の歴史を象徴しています。

今回の展示は、出土した瓦の比較から、築城技術の移り変わりや、これらの城の姿を映し出そうとする内容です。



展示風景

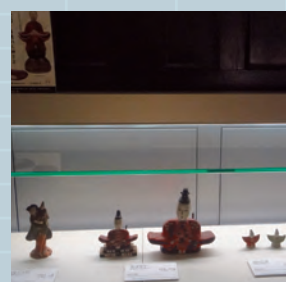
相互貸借特集展示Ⅶ

【國學院大學博物館×西南学院大学博物館】

「天神人形 —各地の天神さま—」

会 期 / 2016年2月15日(月)～5月25日(水)
会 場 / 西南学院大学博物館 1階 廊下
入 場 / 無料

菅原道真公は「天神さま」とも称され、学問の神様として親しまれています。天神さまは絵に描かれるとともに、全国各地で民具として天神人形が作られ、姿・材質も様々です。そのような天神人形を神道史学者の宮地直一氏旧蔵史料の中から紹介しています。



展示風景

◇西南学院大学博物館 10周年にむけて

当館が西南学院中学校の本館として建設されたのは、1920年のことでした。その後、西南学院中学校・高校の講堂として使用され、中学校・高校の移転後は改修工事を行い、2006年に博物館として開館しました。

2016年に西南学院大学博物館は開館10周年の節目を迎えます。このたび、10周年を記念し、博物館のリニューアルを行うこととなりました。そこで、2016年1月より外部補修工事を行っております。10年の月日により傷んだ窓枠などの塗装が一新され、当時の美しさを取り戻しています。

さらに、開館当初より大きな変更を加えられていなかった、常設展示室を刷新します。10年の間に当館の所蔵品は増加し、研究協定先との連携事業など、年々活動は活発になっていきました。当館のこれまでの成果を来館者の方にわかりやすくご覧いただけるような工夫を加えました。



※リニューアル工事のため、以下の期間を常設展示室閉室といたします。

工事期間：2016年4月11日(月)～5月12日(木)
リニューアルオープン：2016年5月13日(金)

皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、新しくなった博物館にぜひお越しください。

◇西南学院大学博物館収蔵品目録の刊行

開館以降、当館はキリスト教文化に関するものを中心として資料の収集に努めてまいりました。それらの収蔵品の内、一部は常設展や特別展において公開しておりますが、それ以外にも多

くの資料を所蔵しております。このたび10周年を迎えるにあたり、収蔵品目録を刊行し、これまでの博物館の歩みをご紹介します。2017年3月刊行予定。

次回特別展紹介

2016年度 春季特別展 開館10周年記念特別展

西南学院大学博物館の「信仰の歴史」展

会 期／2016年6月10日(金)～8月5日(金)
時 間／午前10時～午後6時(入館は午後5時半まで)※日曜休館
会 場／西南学院大学博物館特別展示室
入 場 料／無料
主 催／西南学院大学博物館

2016年度春季特別展では、西南学院大学博物館のコレクション展を開催します。西南学院が建学の精神としているキリスト教の歴史を概観します。キリスト教の母胎であるユダヤに始まり、キリスト教が広まりをみせるなかでどのように受容されたのか、その実体に迫っていきます。さらに、日本へのキリスト教の布教から禁教、解禁そして西南学院の開学までをご紹介します。

また、10周年を祝して今回新たに収集した「出島蘭館図巻」を展示いたします。



宗門改影踏帳



マリア観音像



受胎告知と諸聖人



出島蘭館図巻

スタッフの声

2016年は、西南学院大学100周年の年であり、そして西南学院大学博物館10周年の節目の年でもあります。2006年5月15日の開館より12万人を超す多くの方々にご来館いただき、ご愛顧を賜ってまいりました。このニュースが刊行される3月は卒業の時期でもあります。当館が10年間にわたり見送ってきた西南学院の学生たちがいつでも帰ってきていように、いつまでも変わらず出迎えられるように、これからもこの場所を守り受け継いでいけたらと思っております。変わらずにあり続ける思い出の場所というのは、時として儂いものですが、装いも新たとなった赤煉瓦が皆様の心のなかにこれからも刻まれてゆくことを願います。

学芸調査員 山尾 彩香

行事予定

2015(平成27)年～2016(平成28)年

【特別展／企画展】

2015年11月30日(月)～2016年3月24日(木) 予定
天草キリシタン館サテライト展示
「シナゴードーユダヤの祈りと祭具」
[場所] 天草キリシタン館

2015年12月2日(水)～2016年3月24日(木)
西南学院大学博物館 × 南島原市 原城図書館企画展示Ⅴ
「海外への窓口 KYUSHU・NAGASAKI I ー異国の影響を受けた長崎の文化」
[場所] 原城図書館

2015年12月15日(火)～2016年5月31日(火)
2015年度企画展
「西南から見た西新の記憶」
[場所] 西南学院大学博物館

2016年1月8日(金)～4月23日(土)
西南学院大学博物館 × 國學院大學博物館 相互貸借特集展示Ⅵ
「異国イメージ ー紅毛人から阿蘭陀人へー」
[場所] 國學院大學博物館

2016年2月15日(月)～5月25日(水)
西南学院大学博物館 × 國學院大學博物館 相互貸借特集展示Ⅶ
「天神人形 ー各地の天神さまー」
[場所] 西南学院大学博物館

2016年6月10日(金)～8月5日(金)
2016年度 春季特別展 西南学院大学博物館10周年記念特別展
西南学院大学博物館の「信仰の歴史」
[場所] 西南学院大学博物館

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。
なお、予定は変更することもございますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

来館者掲示板

【来館者の言葉】

30年ぶりにこの建物に入りました。なつかしくて、涙が出そうになりました。自分の子供もやはりこの西南に行かせたいと思いました。
(2015年 10月)

知人にすすめられて何気なく入ってみたのですが、展示資料の充実ぶりに圧倒されました。魔鏡のようにとっても貴重なものもありますし、多くの人々にぜひ訪れてほしいと思う博物館でした。もちろん、西南学院の歴史も知れてよかったし、他大(國學院大學)や南島原市、産官学の連携も、他の大学博物館にはなかなかみることのできないものだと思います。そして何より、観覧中に学生さんと思われる方がオルガンの練習をされており、素敵な気持ちで過去の出来事に思いを馳せることはできませんでした。来年3月にまた西南に来る機会があるので、また訪問させていただこうと思います。
(2015年 12月)

1986年高校卒のOBです。この建物だけは、変わらず在り続けてほしいものです。卒業以来、30年ぶりの再訪。うれしいひとときでした。
(2015年 12月)

3月は卒業シーズンということもあり、本学卒業生の来館もいつもに増して増えています。当館は博物館として使用される以前にも事務本館など様々な形で学院に寄り添ってきました。その当手を懐かしむ声、また博物館としての活動に共感してくださる声、その両方が寄せられるのも、歴史的建造物ならではのと言えますね。

学芸調査員 阿部 大地

西南学院大学博物館

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日 / 毎週日曜日、夏季休暇[8/10～8/16]
キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]
入館料 / 無料

アクセスマップ ACCESS MAP



福岡空港 → 西新駅下車...約17分
博多駅 → 西新駅下車...約12分
天神 → 西新駅下車...約8分
※地下鉄西新駅(③番出口)から徒歩5分



博多駅バスセンター → 修猷館前...約35分
天神 → 修猷館前...約20分
※修猷館前バス停から徒歩5分



福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約25分
博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約20分
天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約15分